

# 第一部

## Show (2・3・4年)

arr. by 高橋賢作

日本のNew・Musicの新しい旗手ともいえるSugar Babe(解散しましたが)のこの曲で私達もコンサートの幕明けをしたいと思います。ひとときの安らぎを求めて、さあ素敵な(?) Showの始まりです。

## Lookin for a Hero (2年)

arr. by 江頭淳

英雄の魂・それはロックンロールとディランズチルドレンのエリオットマーフィーが、語りかけます。単調なメロディーラインにもかかわらず、ボイスにはこってり味つけをして聞かせます。言いまわしの面白さをお楽しみください。

## Salvation (2年)

arr. by 内田五

救いの手を求め続ける若者の苦悩を歌った、エルトン・ジョンの曲です。我々も、その苦悩から旅発つ若者の姿になりきって歌うことができるでしょうか。

## OH Atlanta (3年)

arr. by 高山茂樹

リトル・フィートってほんとうにすごいグループなんです。彼らのLPにはロックのおしまくるノリがあります。ぼくたちもアトランタという町を、勢いに乗せて表現できたらいいなと思っています。

## Desperados Waiting for the Train (3年)

arr. by 高山茂樹・高橋賢作

Guy・Clarkの名曲をちょっとロックぽくやってみました。年老いたTexasの老人が昔を回顧している姿、なぜか私達ももの悲しくなるのです。テキサスレッドネックロックへの憧れをこめてKW'74のCry。

## Wondering (4年)

arr. by 菅義夫

ある身分の高い白人の一家が、ひよんな事から、馬車引きや洗濯女にまで身をおとしてゆくという、アメリカの古い民謡ジェームス・テラーの『ゴリラより』

## いかつり唄 (4年)

arr. by 千々木葉子・漆畑明

寒い冬の夜、暗い海の沖に浮かぶいかつり舟の赤い灯を御覧になったことがありますか? 昔懐かしい赤い鳥の歌っていた湘南地方の民謡。4年らしくしっかりと漁師の気持ちを歌いあげたいと思います。

## Country Comfort (1年)

arr. by KW'76+高山茂樹

若々しい1年生が最近の流行にのって故郷への憧れを歌います。就職難の折、故郷が単なる憩いでない4年生もいたとか、いないとか。でもそんなことはおまかいなしにあだこうだと言いながら1年生が作りあげました。

## Love the One You're with (1・2年)

arr. by 伊藤又一

S・スティルスのこの曲に若き、1・2年が合宿での深刻なる絶望と虚脱の涙の谷を乗り越えて得た歓喜を託して歌い上げます。オープンDのさわやかなギター音と、1・2年のファイトに御注目下さい。

## —祝 第11回定期演奏会—

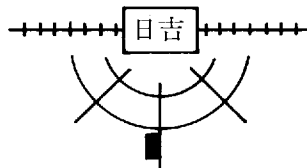


- 貸ホール
- 各種レコード・楽器
- その他

日吉駅前中央通り

TEL 044 (63) 5511

東横線 日吉駅前 **山響楽器**



## 第 二 部

### Message from Hot Wind

—— 南 国 へ の 招 待 ——



**Hello! Every body.** 北風吹く寒い季節に南国の暖かい風に乗ってやって来た私達KWです。

ジャマイカ、カリブ海、南米そして沖縄と旅する私達のレイドバックした気分皆さんもゆったりと、ひたってください。

#### Jupiter Hollow (2・3年)

arr. by 高 山 茂 樹

アメリカ南部を憧れるグループはたくさんいます。そしてそのアメリカ南部のグループであるザ・バンドは、さらに遠くの地を求めています。2部の最初は楽しさいっぱいのコミックソングです。

#### No Jesting (3年)

arr. by 高 山 茂 樹

ジャマイカの女の子がお母さんにうちあげます。「マミー、マミー、私はあの人のお嫁さんになるのよ。冗談じゃないのよ。」『南の国』の鳥たちが、こんな彼女の気持ちをいっそう明るくします。

#### Rivers of Babyron〜ブラックピーナッツ(縦割り)

arr. by 井 上 健 一 郎

中近東に流れるバビロンの川、そこで、川をながめた後は、いっきょカリブ海へ、そして、聞かれる音楽は、あの名高いワイロの歌。ブラックピーナッツです。

#### ハイサイおじさん(縦割り)

arr. by 高 橋 賢 作

日本の南国である沖縄の歌です。単純なメロディーの中に潜む沖縄独特の雰囲気をお伝えできれば、と思っています。幼子から見たあるおじさんの生活を唄で表現してあるのですが、琉球語の難しさ、分ってくれますか？

#### 思い出のラハイナ(縦割り)

arr. by 疋 田 清

「ラハイナじゃ砂糖きびが生い茂り、ラハイナじゃのきな暮し。ラハイナじゃマンゴーは甘いよ。だけどもカデの奴が足元をはいまわる。」ロギンス & メッシーナの曲です。こんな南の島へ行ってみたいと思いませんか。

#### No Woman No Cry

arr. by 高 山 茂 樹

アメリカではボブ・マーレーの旋風が吹きあれているそうです。燃えるものを失った若者たちが、南から吹いて来たこの風に興奮するのも当然でしょう。レゲエに乗った南からのメッセージをお聞きください。

やすみです

清潔・サービス第一の

麻雀 日 吉 荘

TEL 044-61-2045

# 第 三 部

## CRY, K.W.!

### From You to Me to You (3・2年)

arr. by 井上 健一郎・安藤 覚

ナンシー・フィルソンの This mother's daughter というアルバムの中の曲です。KW'75・'75がSou 1 にチャレンジするのです。さて、どこまで黒人のフィーリングに近づけるか? いよいよ3部のオープニングです。

### Green Sleeves (2年)

arr. by 伊藤 文一

この曲の調子は、優しくも急に打込む細い針のような鋭さがあるように思えます。私達はそれを美しいパースとハモによって訴えたいと思います。果たしてどこまでできるでしょうか。

### Too Many Hands (2年)

arr. by 伊藤 文一

KW'75にとって、否、KWにとってかなりハードな曲のひとつです。おそらくバックとヴォイスによってあなたは目を覚ますでしょう。そしてこの曲のイメージと、金属音はあなたの脳裏に深く刻みこまれるでしょう。

### Sprit Coconut-She's the Friend (4年)

arr. by 漆 畑 明

破戒された頭脳の持主の奇声で始まり、何故か全く関係のない明るい楽しい曲に続きます。デイブ・メイスンも驚いたという、この限りなく不必要に近い関連性をお考えください。

### Sinner Man (4年)

arr. by K W

KWの伝統の歌であり、今なお練習曲となっている4ビートの激しい曲です。“罪人よ、太陽も海も月も、お前を隠まってはくれない、罪人よ! 罪人よ!” 神の啓示が聞こえてきます。

### 島原の子守歌 (4年)

arr. by 漆 畑 明

御存知、九州島原地方の民謡です。いつまでたっても垢抜けないカッペ集団4年には、ピッタリの曲です。遠く暗い九州の海に悲しく響きます。“なんのナンやら、なんのナンやら……”

喫茶&スナック

# サトル

明るいマスターがむかえてくれる  
気さくなお店。

京浜蒲田駅から歩いて5分

大田区西糀谷1-13-1

TEL(03)744-7346

### Barrel House Girl (3年)

arr. by 高山茂樹

アメリカ南部にひたすら憧れるオレンジ・カウンティ・ブラザーズの日本語ナンバーです。西部劇に登場するステキな美人? というわけにはいきませんが、3年の女の子があなたにビールをお注ぎします。

### Israel (3年)

arr. by 井上健一郎

イスラエルに対する、心の故郷。それをどういふわけか、西ドイツ人が作ったという奇妙な歌を、日本人の僕達が歌うのです。この曲では、男全員がギターを持ってトゥービートというストロークに悩まされながら歌います。

### Everything that Touches You (3年)

arr. by 高山茂樹

共にすごしたすべてのことがくずれていく。失恋をすると皆そんな想いに沈むものです。でも去っていく人にそんな気持ちは伝わりません。せめて、あなたは感じてください。私たちのこの想いを。

### Forever Young (3・4年)

arr. by 漆畑明

“いつまでも若く、あなたがいつまでも若くありますように” ボブ・ディランの曲を Sing out に変えてみました。そこには挫折がある事を知りながらも、全力でぶつかってゆく若さを私たちは失いたくありません。年老いた3・4年合同です。

### They Cant Take Away Our Music (2・3・4年)

arr. by 高山茂樹

戦争や差別に怒りをぶつけていた若者たちが、最近冷えてしまったという話をよく聞きます。しかし、戦争や差別がなくなったわけではありません。黒人は叫ぶのです。どんなに差別されても我々の音楽は死にはしないと。

### #27 今さよならの時に (1・2・3・4年)

Song by 井上健一郎  
arr. by 高山茂樹


とうとう、僕達とみなさんとのわかれの時間になりました。でも、僕達若者にとっては、どんな時でも前進する力があり、目の前には道が開かれているのです。たとえそれが、わかれの時、そう、さよならの時でも……

### My Way (1・2・3・4年)

arr. by 安藤覚・高山茂樹

いよいよ最後の曲です。2年前のエンディングブロックにも、この曲がのりました。しかし、今回は想いも新たに明るいイメージで幕をおろしたいと思います。これからもKWが自分の道を歩み続けることを願って。

花卉・種苗専門商社

 **中村農園**

代表取締役 中村利道

高知市長浜5381-2 (TEL 0888-41-2903)

